

# 2016年 1月重点目標 タイツウ運輸

## 1月は、スリップ事故、正面衝突事故に注意

正面衝突事故が最も多く発生、そのうち約半数がスリップによる事故

### ◆スリップするのは、どんな運転…

- 直線道路、カーブにかかわらず、ブレーキ・ハンドル操作によるものが多い
- 対向車両とすれ違う時に、急激なブレーキを操作
- 道路が凍結していることに気づき、カーブで急激なブレーキを操作
- スリップした時に体勢を立て直すため、急激なハンドル操作

### ◆スリップ事故を防止するためには…

- 急激なハンドル・ブレーキ操作はしない！
- 対向車とすれ違うときやカーブの手前では、あらかじめスピードを落とす！
- 余裕を持った運転計画を立てる！

### ～カーブで逸脱、横転事故に注意～ 「カーブ手前での減速」を徹底

#### ○この時期の事故形態

- ・市街地、交差点付近の凍結路面で追突、衝突
- ・なれにより、路面のすべりやすさ忘れてスリップ
- ・吹雪や渋滞などで、急ぎ、あせり、イライラ
- ・地吹雪など視界不良時の多重事故
- ・除排雪作業中でのバック事故

#### ○この時期の交通事故の主な特徴

- ・冬道のなれなどから警戒心が低下し、「こんなにすべるとは思わなかった」など、交差点付近で追突事故が急増
- ・天候不良、渋滞等の遅れで起きる、「急ぎ」、「あせり」の気持ちから、思わぬ事故が発生
- ・交差点付近は、雪山で見通しも悪くなり、出合い頭の衝突や歩行者との事故が多く発生

「見えない先には、何かがある」

「視界不良時は、車を停める勇気も持ちましょう」

- 視界不良時には、見えない先に低速車や駐停車車両、歩行者など何があっても、おかしくありません  
ハザード点灯し、安全な場所に退避して様子を見ることも必要です
- 吹雪の時には、相手もこちらが見えにくいのです、普段から、「デイ・ライト」の点灯